

2002年9月1日号



うしんばん

NO, 499号

ボーイスカウト目黒1団機関誌
発行：東京都目黒区中目黒5-6-8
田邊健一郎 03(3710)7350

第8回世界スカウトユースフォーラム 参加報告

ボーイスカウト東京連盟目黒第1団 / 港第3団 市河靖弘

派遣の概要

名称：第8回世界スカウトユースフォーラム (8th World Scout Youth Forum)

期間：2002年7月8日～7月11日

場所：ギリシャ / メツツヴォ (Greece/Metvo)

参加者：18歳以上26歳未満のスカウトおよび指導者

世界スカウトユースフォーラムとは

1993年、バンコクで行われた第33回世界スカウト会議の決議、「意志決定への青年の参画」に基づき、世界会議におけるユース世代スカウトの参加を促進することを主な目的として、世界スカウトユースフォーラム(以下WSYF)は世界会議の直前に開催されることになっている。WSYFは、ユースにより企画、運営され、ユースの手によって議案が世界会議に提出される、青年による青年のためのフォーラムである。また、WSYFは、地域的な活動から、国内外で行われる大規模な活動まで、各段階で議論された内容やニーズを吸い上げ、再びフィードバックすることも目的とされており、より良いユースプログラムの実現、スカウト活動の発展という面についても非常に大きな役割を担っている。



派遣の感想

今回のフォーラムには、世界47カ国6地域から、120名のユーススカウトが参加した。会場となったのはギリシャのメツツヴォという山間部の街である。この街は山々の谷間にすっぽりと包みこまれた、ヨーロッパの田舎町。6日間滞在したが、気温は高すぎず低すぎず、町の人たちもとても親切で過ごしやすいところであった。フォーラムは4日間、事前に発表されていたいくつかの議題を中心に、世界中の同年代スカウトと、様々な話をした。議題としては、近年減少傾向にあるスカウト人口の問題について、よりよいプログラムを実現するためにはどうすべきか、または若者たちのニーズをいかに

吸い上げるかなど、問題解決のための話し合いがメインである。また、各地域からのスカウト活動に関するプレゼンテーションや問題提起、人種や言葉の壁を越えた文化交流など、濃密なプログラムの中、大変貴重な経験をすることが出来た。今回のフォーラムを通して、私は世界中に友人を作ることができ、特にアジアのスカウトとは、毎晩スカウト活動について熱く語ったものである。「世界中に仲間がいる」ということがスカウト活動の大きなメリットであり、最大の魅力であると、香港のスカウトがよく言っていたが、私もそのとおりだと思っている。今後は日本が中心となり、アジア地域間の国際交流活動をより促進させ、世界のスカウト活動、ひいては社会に何らかのインパクトを与えて



日本代表参加中の市河君(写真左)

いけたらと考えている。